

Windows NT 上の 4D Server に対する Mac と PC のリモートアクセスの設定と構成

David Hartje

はじめに

このテクニカルノートでは、Windows NT マシン上で動作している 4D Server に対してリモート接続する場合の設定について説明します。Windows / Mac OS の 4D Client から、4D Server for Windows が動作している Windows NT マシンへの接続方法を説明します。

この解説で使用している製品は freeware であり、オペレーティングシステムに添付されていたり、インターネットから無料でダウンロードできるものです。

この例で使用している接続用のソフトウェアは Microsoft 社の Remote Access Software (RAS) です。このテクニカルノートのデモで使用されている例は、4D Client と 4D Server と共に、RAS 構成を用いる方法を示しています。

構成要素

ソフトウェア

- Microsoft Windows NT 3.51 (Server または Workstation が必要)
- Microsoft Windows 95 Dial-Up Adapter / Windows NT RAS
- Microsoft's Novell IPX/SPX Stack for Windows Clients
- Microsoft's TCP/IP Stack for Windows Clients
- Config PPP (For Macintosh Clients)
- MacTCP/TCPIP
- PPP (Macintosh Extension)

ハードウェア

- リモートアクセスサーバ上：3Com 3C5X9 Ethernet Adapter Card (我々の例ではこのメーカーのものを使用しましたが、必ずしも同じである必要はありません)
- Macintosh クライアント：US Robotics Sportser 28.8 External Modem (我々の例ではこのメーカーのものを使用しましたが、必ずしも同じである必要はありません)
- Gateway 28.8 Internal Modem (このメーカーの製品をクライアントと Server PC のテスト用に使用しましたが、必ずしも同じである必要はありません)



サーバ

ステップ1 - サーバのインストールと設定

Windows NT サーバマシンへのネットワークカードのインストールと設定を行ないます。次のソフトウェアがインストールされており、カードに対応していることを確認してください。

- IPX/SPXプロトコル

このプロトコルに関して選択されているFrame Typeは、4D Server を動かしている他のマシンのFrame Type と一致している必要があります。Frame Type802.3 をおすすめします。

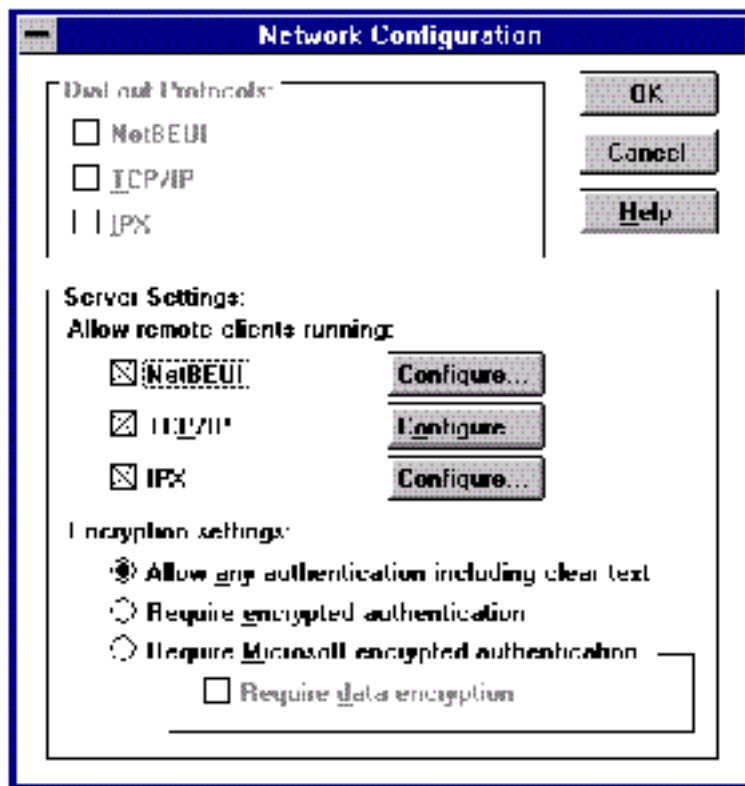
- TCP/IPプロトコル

重要：このマシンには、アクセスされる他の 4D Server アプリケーションと同一サブネットIPアドレスの割り当てが必要です。

- Windows NT Remote Access Service (RAS)

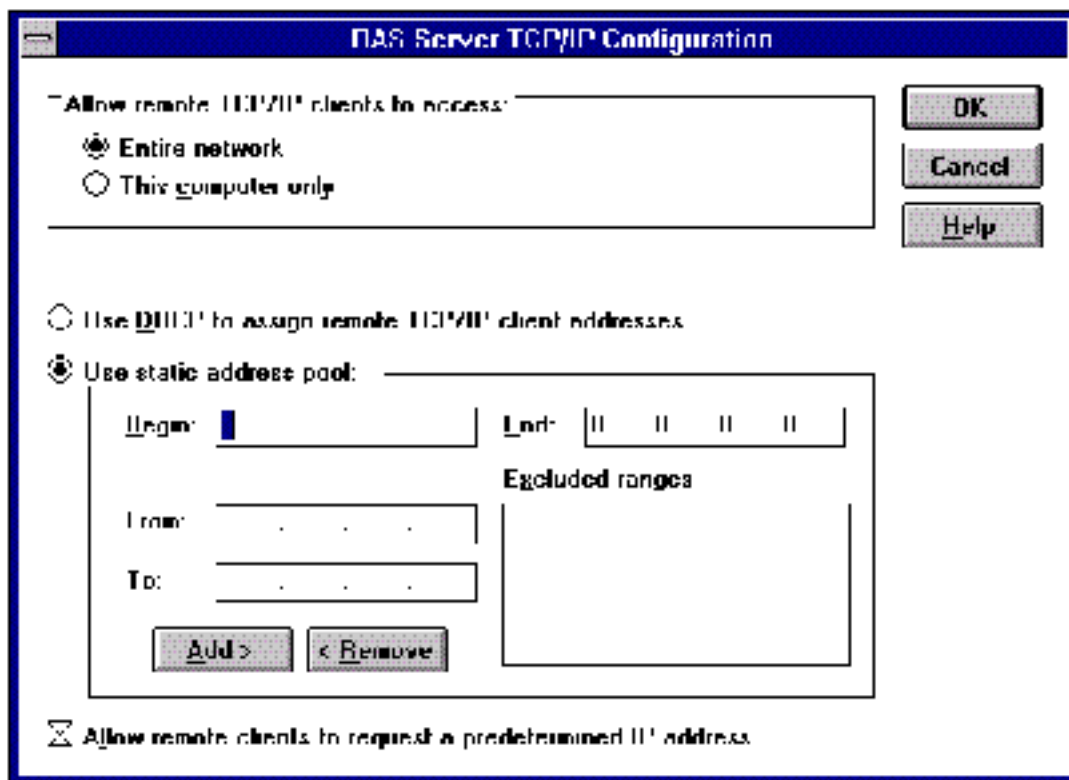
ステップ2 - リモートアクセスサービスの起動

1. 「Network」コントロールパネルの設定ダイアログボックスから Windows NT Remote Access Service をダブルクリックして起動します。
2. Network ボタンをクリックして「Network Configuration」ダイアログボックスを表示させます。
3. 少なくとも、TCP/IP と IPX/SPX プロトコルを使用してリモート接続ができるように設定します。



サーバ設定

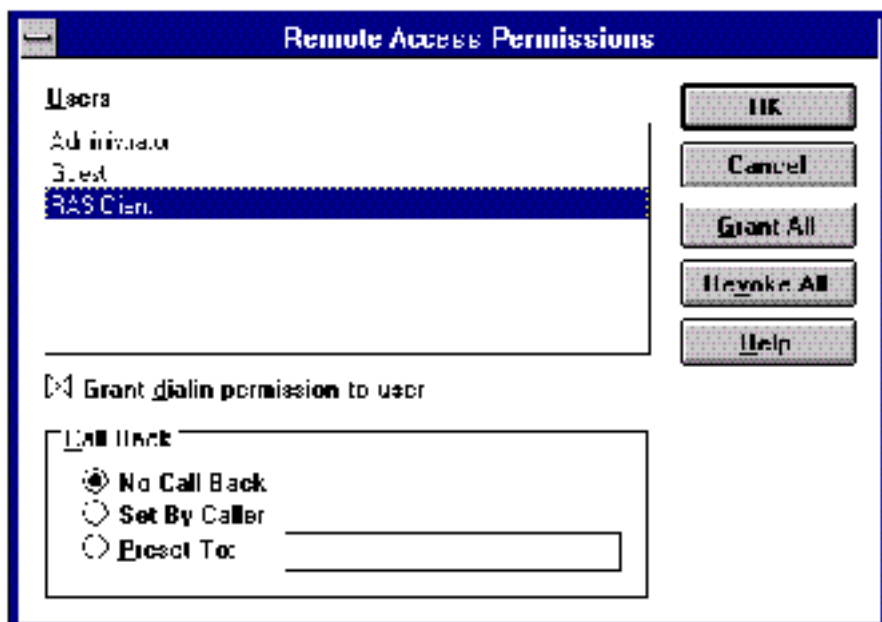
電話で接続するリモートクライアントに配信できるように、ネットワーク IP のサブネットアドレスからアドレスの“プール”を提供するTCP/IPをおすすめします。また、4D Server アプリケーションからリモートアクセスサーバを認識できない場合は、これらのプロトコルのコンフィギュレーション設定で、ネットワーク全体へのアクセスを承認する必要があります。



注：WindowsNT Remote Access Serviceは完全にCHAPで、PAPに従いますが、Macintoshクライアントからのパスワード認証は難しいかもしれません。そこで“ Allow any authentication-clear text included ” 設定をあらかじめ選択しておきます。よりレベルの高い機密保護機能に関しては、通信が開設できた後で試すことができます。

ステップ3 - リモートアクセスの起動

1. Remote Access (Common) プログラムグループから Remote Access Admin アプリケーションを起動します。
2. リモートアクセス権を割り当てようとするドメインを選択します。



注：Remote Access Server (RAS) サーバマシンがドメインに接続したり、ドメインの一部である必要はありません。ですが RAS は他のサービスと同様に、またそのようにしようと思えば、既存のドメインアカウントも使用できます。ローカルであれドメインであれ、ユーザはすべて、この設定用セットアップアプリケーションへの電話回線接続の権利を与えられている必要があります。

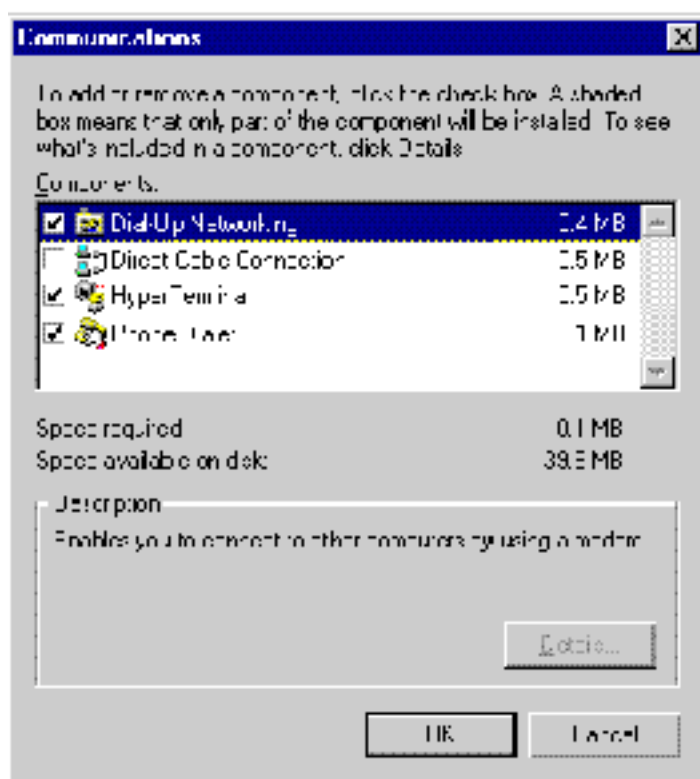
これこそが、スタンドアロンのサーバや、ネットワークに接続されたサーバに対して、リモートの4D Server へのアクセスを提供する際にサーバ側で必要な基本事項です。

重要：リモート接続を試す前に、Remote Access Server からリモートアクセスクライアントに必要なレベルでネットワークと通信できることを必ず確認してください。つまりリモートアクセスのセットアップ前に、ローカルでネットワークにアクセスできなければならないということです。

クライアント (Windows95)

ステップ1 - Windows95 の Dial-Up Adapter をインストールする

1. Add/Remove Programs コントロールパネルで Windows95 の Dial-Up Adapter をインストールします。アダプタの選択肢はWindows Setup のCommunications 設定画面にあります。最低限TCP/IPとIPX/SPXはインストールしてください。



2. アダプタのインストール終了後は、必要な修正は Network コントロールパネルから行ないます。

4D Client からドメインに接続できる必要はありません。この機能が必要な場合は、みなさんの “ Windows 95/Windows NT User Guide ” を参照するか、オペレーティングシステムをサポートしている機関に相談してください。

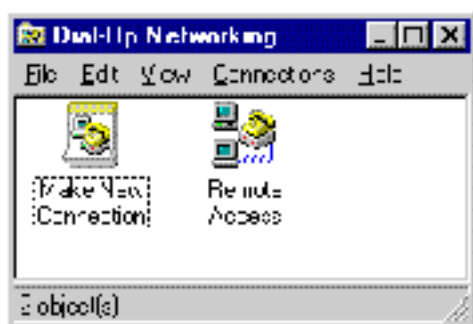
TCP/IP と IPX/SPX プロトコルのデフォルトの設定で十分ですが、重要なのは Windows NT マシン上の Remote Access Server ソフトウェアが提供する設定と一致していることです。

同様に、Server Type は “ PPP, Windows95, Windows NT 3.5, Internet ” が選択されてい

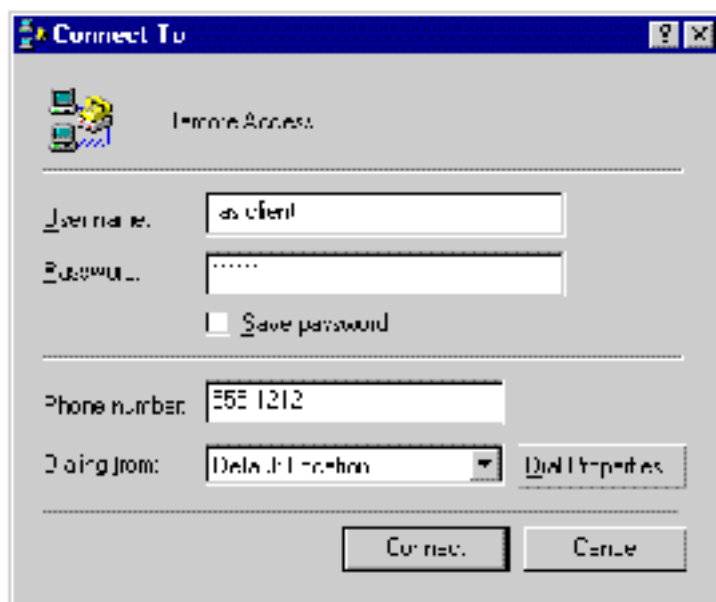
ることを確認してください。これはデフォルトの設定です。

ステップ2 - Dial-Up Networking Setup 用のアプリケーションを起動

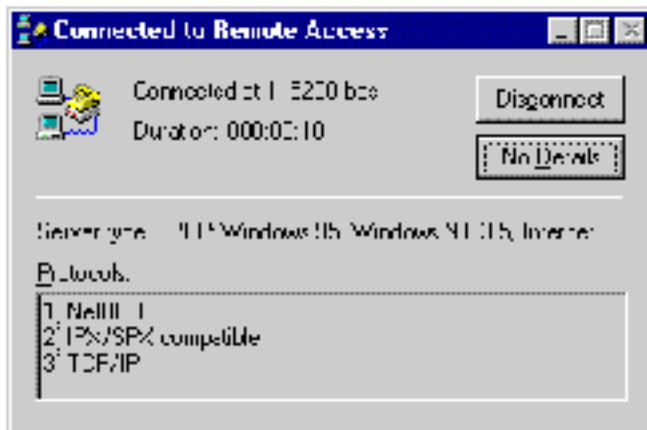
1. 「スタート：プログラム：アクセサリ」メニューからDial-Up Networking Setup 用のアプリケーションを起動する
2. みなさんのモデムの設定とアクセスするWindows NT マシンの電話番号を答えます。接続用のアイコンができます。
3. リモートアクセス接続するためには、接続用のアイコンをダブルクリックします。



4. Connect To ダイアログボックスに、リモートアクセス用のアカウント名とパスワードを入力します。
5. 電話番号を確認してConnectをクリックします。



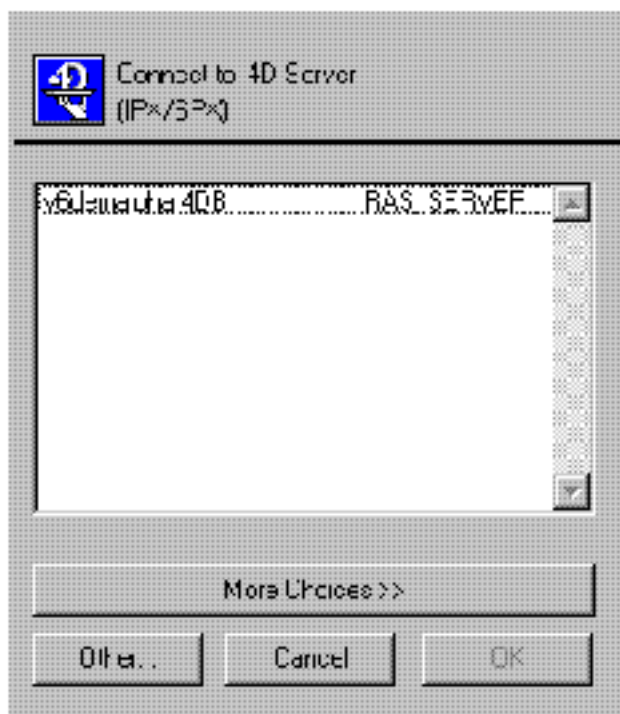
接続が開始できたら、接続のダイアログボックスが表示され、接続速度や接続時間、接続中のプロトコルの詳細が表示されます。



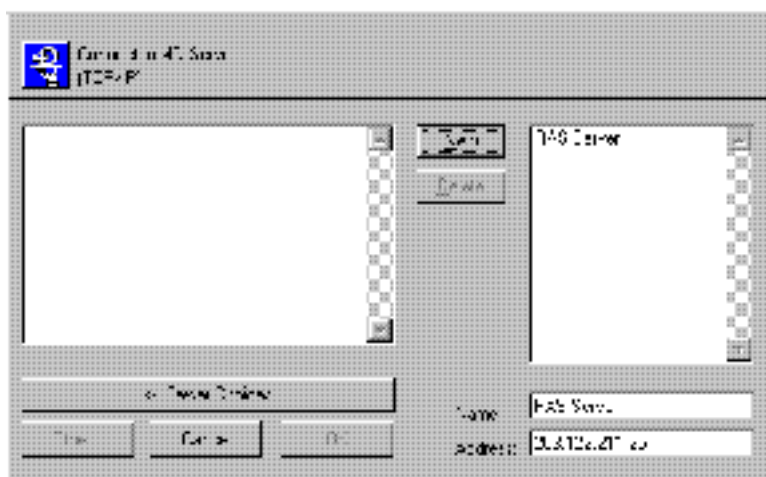
6. 4D Server との通信に必要なプロトコルが表示されていることを確認します。

ステップ3 - 4D Client の起動

4D Clientのコピーを起動すると、4D Server が稼働中のマシンに接続できるようになります。



注：リモートアクセスマシン上で 4D Server が動作していないと、ブラウザ上にはサーバが表示されません。4D Browser 接続ボックスに、ネットワーク上にある種々の 4D Server のネットワークアドレスを“ハードコード”しておく必要があります。



クライアント (Macintosh)

注：Mac クライアントにはTCP/IP接続のみがサポートされています。

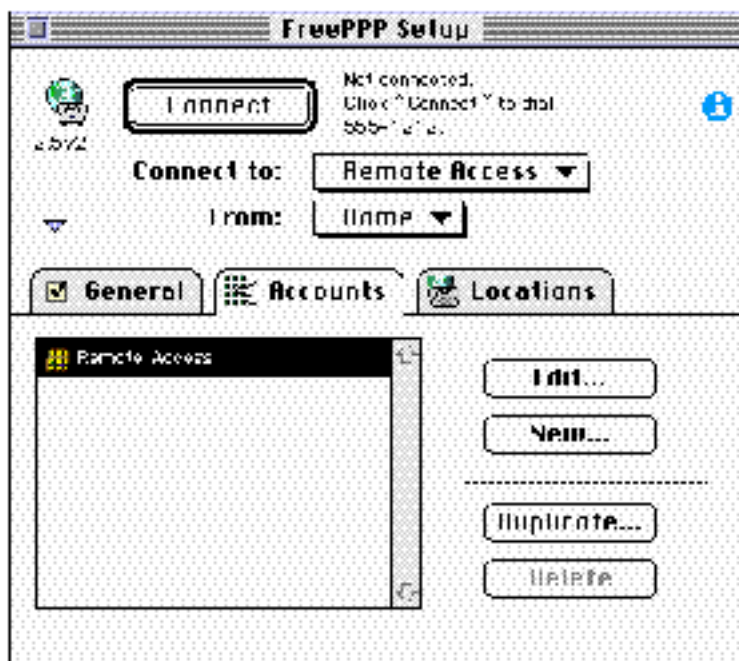
ステップ1 - PPP 接続用ソフトウェアのインストールと設定

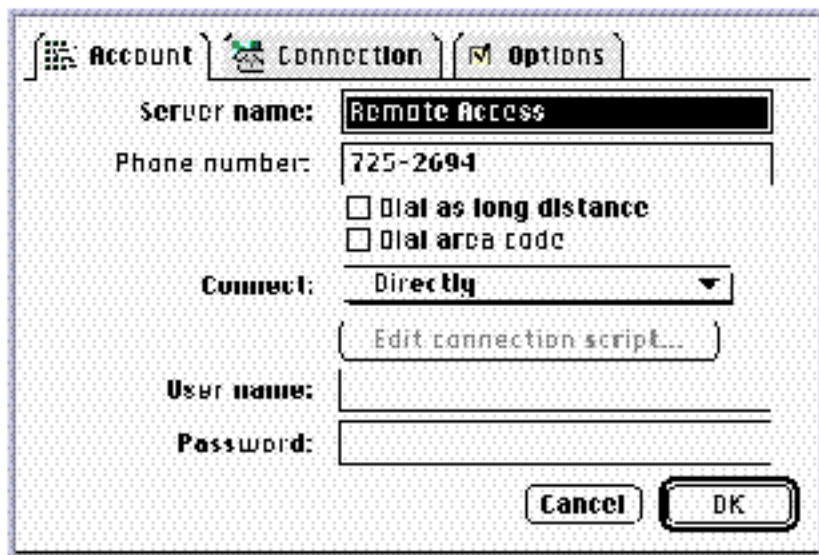
モデムを介して回線接続するために、PPP 接続用ソフトウェアのインストールと設定を行ないます。ここではSystem7.5.2用のFreePPPを使いますが、何を使っても構いません。ユーティリティFreePPPは、名前が示すように、無料で、68KとOpen Transportバージョンのいずれにも対応しています。

注：インターネットへのダイヤルアップ接続をすでにお使いなら、Windows NT Remote Access Serverへの接続設定を追加するだけで済みます。この場合、現在の接続用のTCP情報はすべてPPPサーバから設定されることが前提です。

望ましい構成は、接続用のスクリプトを必要としない直接的な接続です。

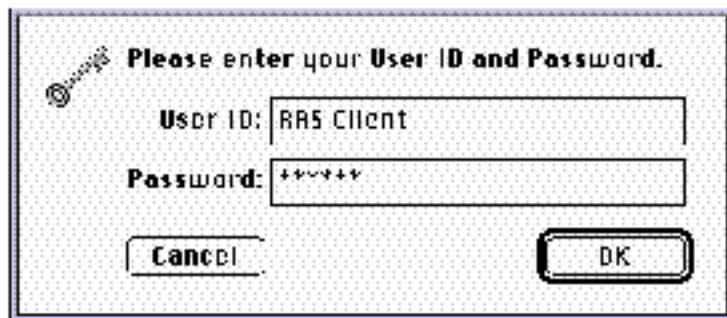
注：このタイプの接続による標準のファイル送信は4Dの他にFTPの制約を受けますが、無論、適切な構成のインターネットWWWサーバへの接続は可能です。





ステップ2 - PPP ソフトウェア接続

1. みなさんのPPP ソフトウェア接続を立ち上げ、Remote Access Server からログインのダイアログ表示されるのを待ちます。
2. Remote Access Server 上に設定されている Remote User Account 情報を特定するための、アカウント情報を入力します。

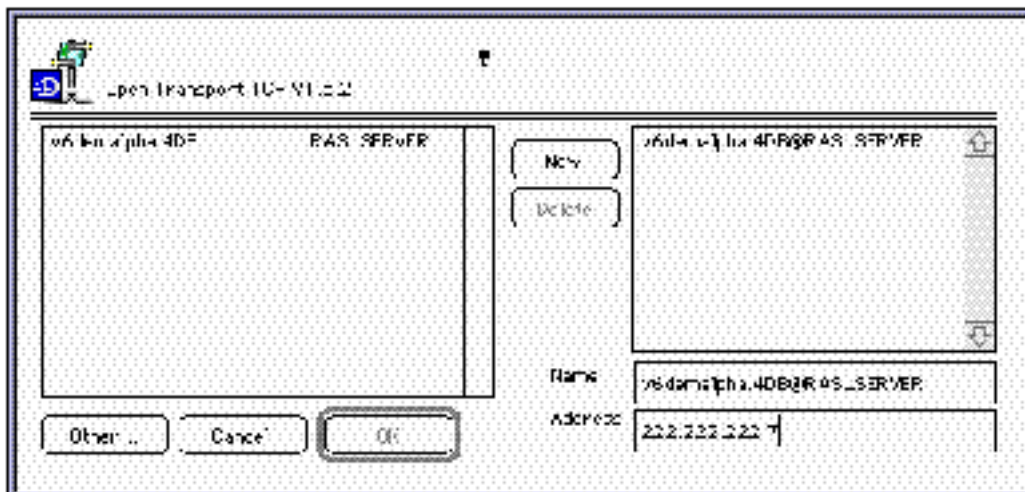




ステップ3 - 4D Client の起動

自分の4D Clientを立ち上げ、ネットワーク上の4D Server マシンに接続します。

対象の4D Server ソフトウェアにはTCP/IPネットワークコンポーネントが設定されている必要があります。Windows 接続オプションの場合と同様に、Remote Access Server 上で動作していない 4D Server は、4D の接続ブラウザには表示されません。“ハードコード”アドレスを設定しておく必要があります。



まとめ

このテクニカルノートでは、4D Server が動作しているリモートのWindows NT マシンへの接続方法の事例について説明しました。この例は細部の説明というより、概要の理解を目的としています。これが唯一の方法というわけではありません。

この事例使用したハードウェアとソフトウェアはすべて紹介してあります。ですが、リモート接続に使用するソフトウェアやハードウェアはすべてはユーザの目的に沿ったものにすべきです。このドキュメントで扱っていない事柄に関しては、みなさんのオペレーティングシステムのテクニカルサポート機関に相談してください。